

小細胞肺癌の網羅的ゲノム解析による新たな治療標的の探索を目指した研究

2022年1月31日作成：v12

1. 研究の対象：

1992～2017年までに国立がん研究センター東病院で小細胞肺癌と診断された患者さん、2011年～2017年までに国立がん研究センター東病院に胸部異常陰影で受診された患者さんの、（1）手術や検査で採取した組織の一部、（2）バイオバンクに保存されている血液、（3）診断、病歴、治療歴など病気に関する臨床情報を、本研究に用います。ただし、この研究の対象となる方であったとしても、下に書いてあります「研究への利用を拒否する場合の連絡先」にお知らせいただいた方については、残余試料や臨床情報を研究に使用しません。

2. 研究の概要：

本研究では、出来るだけ多くの患者さんのがん組織を丁寧に調べ、がんが発生する原因となる遺伝子や、発生したがんがより悪い性質を獲得する原因となる遺伝子の異常を明らかにし、新しい治療法を開発するための基礎となる情報を得るために行います。

3. 研究の目的と意義：

本研究では、小細胞肺癌のがん細胞におきている遺伝子の異常を調べることによって、今まで知られていなかった遺伝子の異常が明らかとなり、がんの原因解明につながる可能性があります。更に、がんの原因を正確に理解することは、新しい治療法の開発のための重要な基盤になります。本研究により新しい治療法の手がかりがつかめれば、難治性の小細胞肺癌の治療進歩に大きく貢献できる可能性があります。研究実施期間は、研究許可日から2025年03月04日までです。

4. 方法：

切除された組織、あるいは気管支鏡検査やCT針生検等の検査にて採取した組織、及びバイオバンクに保存されている血液からDNAを抽出し、その配列を解析することによって、遺伝子の構造や機能ががん細胞の中でどの様に変化しているかを調べます。またそれによって明らかとなったがん細胞に特徴的な遺伝子の異常を、同時に起こっている代謝変化や、病理診断や治療の効果などの情報と比較して分析することで、がんの性質が遺伝子のレベルの異常で理解できるようにすることを目標としています。これらのデー

タから新しい治療法の開発のために役立つ候補があるかどうかを詳細に調べ、評価します。

5. 外部への試料・情報の提供：

診療録の閲覧は個人情報を伴いますが、患者さん個人が特定されないように細心の注意を払います。個人の識別は、研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って行います。対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。本研究で得られた成果については、社会還元の一環として、学会・論文や、NBDCヒトデータベースなどの公的データベースに登録・公開を行う可能性があります。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

6. 研究組織

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科：後藤 功一
東広島医療センター 呼吸器内科：村上 功

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 宇田川 響，梅村 茂樹，後藤 功一

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111

研究責任者

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 後藤 功一

研究代表者

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 後藤 功一